

◆「経済倶楽部講演録」

バックナンバーのご案内

【*6月号】長尾年恭「関東大震災から100年」野口悠紀雄「生成系AIの可能性と限界」下斗米伸夫「ウクライナ戦争と平和の条件」柯隆「三期目の習近平政権始動と中国政治、経済、社会の行方」

【*5月号】白井さゆり「世界の経済金融情勢」筒井清輝「人権と国家」佐伯啓思「ロシア・ウクライナ戦争の文明論と日本」辺真一「差し迫る朝鮮半島の危機」

【*4月号】竹内純子「電力崩壊」千々和泰明「戦争はいかに終結したか、いかに終結するか」小峰隆夫「2023年日本経済の現状と課題」伊賀瀬道也「認知症を予防するために」

【編集後記】

とかく日本における賃上げの議論は賃上げよりも雇用が優先されるとの論調が支配的でした。しかし、コロナ禍とウクライナ戦争という戦後最大の世界的なイベントが引き金となつて起こっているインフレが日本の雇用と賃金にも影響し始めたようです。先の春闘における30年ぶりの高い伸びや賃金の引上げの活発化が人材の移動を刺激する流れも出ています。今後は労働生産性の伸びも伴って賃金上昇が続くなら好循環が生まれそうです。次号は庄司克宏氏「地政学的対立におけるEU規範パワーの可能性と限界」、田中裕之氏「旧統一教会と政界―教祖の発言から見える歴史」、前田昌孝氏「株式相場の転機は近いか」を掲載予定です。

東洋経済 **経済倶楽部講演録** (2023年7月号)

2023(令和5)年7月20日発行

本書内容の複写・複製・転記載・磁気媒体への入力はお断りします。

発行人 田北浩章 編集人 山縣裕一郎

発行 東洋経済新報社
編集 一般社団法人 経済倶楽部

〒103-8345 東京都中央区日本橋本石町1-2-1 (東洋経済ビル9階)

電話 03-3270-0681 Fax 03-3270-0987

e-mail; keizaiclub@nifty.com

ホームページ <https://www.keizaiclub.or.jp>

印刷・製本 港北メディアサービス

〈本誌は全国の経済倶楽部会員向けに刊行され、市販はいたしません〉